

平成24年行政事業レビューシート

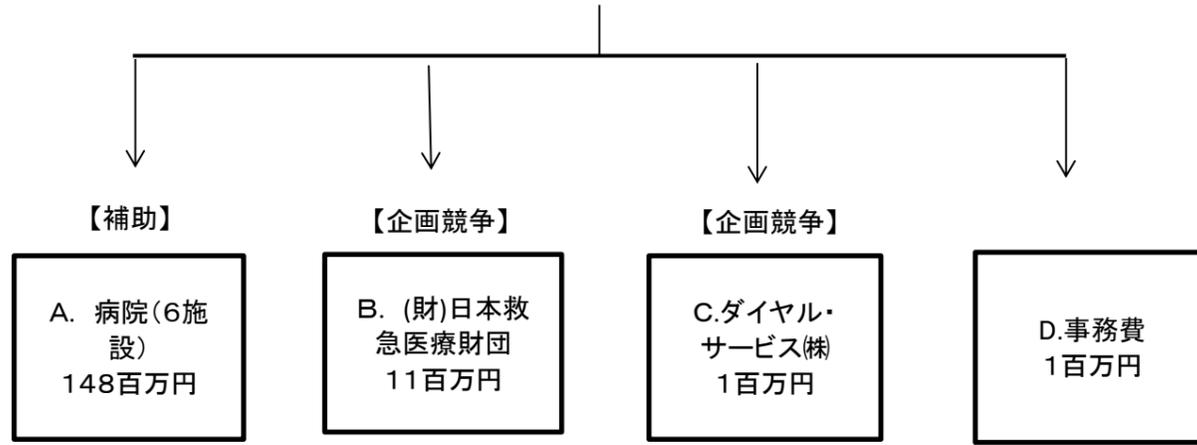
(厚生労働省)

事業名	救急医療従事者の育成・確保		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成1年度～		担当課室	指導課 救急・周産期医療等対策室		室長:佐久間 敦	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	救急医療対策事業実施要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	救急医療を担う人材の養成・確保及び救急医療を担う医師、看護師救急救命士等の知識・技術の向上を図る						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	後期臨床研修医等を対象に救急医療の技術向上等を目的とした研修 救急医療を担う医師、看護師及び救急救命士の知識・技術の向上を図るための研修 保健師勤務保健師等を対象に、救急蘇生法を教える指導者の養成を図るための講習会 救急救命士養成所の専任教員の養成確保を図るため、専任教員希望者を対象に救急救命士の養成所専任教員講習会 病院前救護隊絵師の充実を図るため、救急救命士の行う救急処置を検証する医師及び救急救命士に救命処置の指示を出す医師を養成するための研修						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	107	92	93	93	191
		補正予算					
		繰越し等					
	計	107	92	93	93	191	
	執行額	92	126	161			
執行率(%)	86.0%	137.0%	173.1%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	救急医療業務実地修練受講状況	成果実績	人	311	324	330	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	救急医療業務実地修練等研修の実施回数	活動実績(当初見込み)		7	7	7	-
						(-)	(-)
単位当たりコスト	11,019千円	算出根拠	平成24年度 救急医療業務実地修練等経費の予算額				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	救急医療業務実地修練等経費	11	13	既存事業の事業内容等の見直し及び新規事業の追加			
	救急医療トレーニングセンター運営事業	78	39				
	救急医療推進費	4	4				
	救急勤務医処遇改善対策支援事業	-	136				
計	93	191					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・救急医療は、国民が安心して暮らしていく上で、欠かすことのできないものである。 ・救急医療の充実を図っていくためにも、引き続き国の施策として実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・委託費については、公共調達委員会の審査を経て、企画競争で委託先を決定している。 ・当該事業の実施に必要な額の設定を行っている。 ・補助金については、国庫補助率は1/2となっており、で受益者も応分の負担をしている。 ・補助金については、医療施設運営費補助金交付要綱に記載する当該補助事業の対象経費を交付額の算定方法に従い、算出している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・救急医療を担う人材の養成・確保及び救急医療を担う医師、看護師救急救命士等の知識・技術の向上を図る事は重要であることから今後も継続して事業を進めていく必要がある。 ・研修事業については、研修定員を上回る状況である。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	救急搬送件数の増加や疾病構造の変化や高齢化に伴う救急患者の変化に対応していくために研修内容の充実を検討していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	救急医療従事者の育成・確保については、救急医療を担う人材の養成・確保及び救急医療を担う医師等の知識・技術の向上を図るためのものであり、必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	本事業の趣旨を踏まえ、引き続き効率的な執行に努めたい。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第1弾:事業番号2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」 評価結果:予算要求の縮減(半額) とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだ考える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると考え。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。</p> <p>○事業仕分け第3弾:事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」 評価結果:見直しを行う とりまとめコメント:診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろ議論があったので、減らす方向での対応をしっかりやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	24	平成23年行政事業レビュー	0023

厚生労働省
162百万円

(救急医療従事者の育成・確保)



(救急医療トレーニングセンターの運

(救急医療業務を担う医師、看護師、救急救命士の知識・技術の向

(小児救急電話相談に従事する医師、看護師等の質の向上や対応の標準化を図るため

(救急医療功労者大臣表彰に係る経費等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.都立多摩総合医療センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員給料等	38			
役務費	損害保険料	1			
計		39	計		0
B.(財)日本救急医療財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員給料等	4			
諸謝金	講師謝金等	4			
借料及び損料	会場借料	2			
旅費	講師旅費等	1			
計		11	計		0
C.ダイヤル・サービス(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	賃金	0			
諸謝金	講師謝金等	0			
印刷製本費	研修テキスト製本費	0			
借料及び損料	会場借料	0			
その他	消耗品費等	0			
計		1	計		0
D.天賞堂			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
需用費	救急医療功労者大臣表彰関係費	1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	都立多摩総合医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	39		
2	東京医科歯科大学病院	救急医療トレーニングセンターの運営	39		
3	(独)国立病院機構東京医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	33		
4	都立墨東病院	救急医療トレーニングセンターの運営	18		
5	(独)国立病院機構災害医療センター	救急医療トレーニングセンターの運営	18		
6	東邦大学医療センター大森病院	救急医療トレーニングセンターの運営	1		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本救急医療財団	救急医療業務を担う医師、看護師、救急救命士の知識・技術の向上を図るための研修	11		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ダイヤル・サービス(株)	小児救急電話相談に従事する医師、看護師等の質の向上や対応の標準化を図るための研修	1		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)天賞堂	記念盾購入	0.6	随意契約	
2	(株)オオニシ	記念写真撮影代	0.1	随意契約	
3	大和総合印刷	表彰状の印刷・揮毫	0.1	随意契約	
4	(有限)ピースマイル	看板等借上	0.1	随意契約	
5	(株)ミクニ商会	紙筒等購入代	0.1	随意契約	